

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年8月9日

上場会社名 中央ビルト工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 1971 URL <http://www.chuo-build.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 西本 安秀  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 石井 裕 (TEL) 03-3661-9631  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,723	27.5	△14	—	△17	—	△22	—
2019年3月期第1四半期	1,352	17.0	△45	—	△46	—	△38	—

  

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	△9.58	—
2019年3月期第1四半期	△16.37	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	8,670	3,371	38.9
2019年3月期	8,814	3,452	39.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 3,371百万円 2019年3月期 3,452百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	25.0	25.0
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	0.00	—	25.0	25.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,372	21.8	211	13.1	154	△24.6	81	△27.5	34.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2020年3月期1Q	2,378,740株	2019年3月期	2,378,740株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2020年3月期1Q	26,729株	2019年3月期	26,661株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2020年3月期1Q	2,352,040株	2019年3月期1Q	2,352,530株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がある。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項などについては、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」を参照。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産に弱さがみられるものの、雇用・所得環境の改善が進み、各種政策の効果もあって、景気は緩やかな回復基調で推移した。しかしながら、世界経済の動向や金融・財政政策に関する不確実性の高まりにより、先行き不透明な状況が続いている。

当社の主な関連業界である建設及び住宅業界においては、首都圏を中心とした再開発工事及び東京オリンピック・パラリンピック関連工事など受注環境は堅調に推移した。その一方で工事従事者不足や資材価格高騰の影響による工事工程遅れなど仮設業界では厳しい環境が続いた。

このような状況の中、当社は仮設関連の需要に応えるべく保有機材の拡充や生産体制の強化に努め、住宅鉄骨部門の製造も順調に推移した結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高1,723百万円（前年同四半期比27.5%増）と増収となった。損益面においては、営業損失14百万円（前年同四半期は営業損失45百万円）、経常損失17百万円（前年同四半期は経常損失46百万円）、四半期純損失22百万円（前年同四半期は四半期純損失38百万円）となった。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりである。

#### ① 仮設機材販売

社会インフラ整備等による建設需要は持続しているが、主力製品の売上が伸び悩み、新商品の開発遅れ等により需要を取り込めなかったことで売上高は407百万円（前年同四半期比0.5%減）と減収となった。セグメント損失は15百万円（前年同四半期はセグメント損失32百万円）となった。

#### ② 仮設機材賃貸

枠組足場からくさび式足場の需要変化や材工一式現場の増加がレンタル需要に影響し、軽仮設機材は低稼働で推移したものの、売上高は584百万円（前年同四半期比3.0%増）となった。利益面では、セグメント損失は5百万円（前年同四半期はセグメント損失20百万円）となった。

#### ③ 住宅鉄骨事業

住宅用鉄骨部材の製造受託は順調に製造高が増加しており、売上高は731百万円（前年同四半期比95.0%増）の増収となった。利益面では、セグメント利益10百万円（前年同四半期比6.6%増）となった。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期末の総資産は8,670百万円となり、前事業年度末に比べ143百万円減少した。流動資産が3,711百万円（前事業年度末比150百万円減）、固定資産は4,958百万円（前事業年度末比7百万円増）となった。総資産の主な減少要因は、現金及び預金が124百万円減少したことなどによるものである。

#### (負債)

負債合計は5,299百万円となり、前事業年度末に比べ62百万円減少した。流動負債が3,778百万円（前事業年度末比69百万円増）、固定負債が1,521百万円（前事業年度末比131百万円減）となった。負債の主な減少要因は長期借入金125百万円減少したことなどによるものである。

#### (純資産)

純資産合計は利益剰余金が81百万円減少したことなどにより3,371百万円（前事業年度末比81百万円減）となった。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2019年5月17日の決算短信で公表した予想を変更しない。今後、何らかの変化がある場合は適切に開示するものとする。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,016	892
受取手形	362	297
売掛金	1,048	1,164
製品	817	780
仕掛品	186	177
原材料及び貯蔵品	329	375
未収入金	81	4
その他	20	20
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	3,862	3,711
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,082	2,083
減価償却累計額	△1,695	△1,703
建物(純額)	386	379
構築物	793	793
減価償却累計額	△596	△602
構築物(純額)	196	190
機械及び装置	1,871	1,578
減価償却累計額	△1,722	△1,438
機械及び装置(純額)	148	140
貸与資産	7,730	7,781
減価償却累計額	△7,123	△7,141
貸与資産(純額)	607	639
車両運搬具	61	61
減価償却累計額	△51	△53
車両運搬具(純額)	9	8
工具、器具及び備品	240	240
減価償却累計額	△219	△219
工具、器具及び備品(純額)	21	21
土地	3,177	3,177
リース資産	184	184
減価償却累計額	△128	△132
リース資産(純額)	56	51
有形固定資産合計	4,603	4,609
無形固定資産	9	9

(単位：百万円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年6月30日)
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	0	0
繰延税金資産	66	64
その他	274	278
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	338	340
<b>固定資産合計</b>	<b>4,951</b>	<b>4,958</b>
<b>資産合計</b>	<b>8,814</b>	<b>8,670</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形	663	741
買掛金	486	555
短期借入金	1,650	1,650
1年内返済予定の長期借入金	500	500
未払法人税等	57	7
役員賞与引当金	26	6
その他	323	316
流動負債合計	3,708	3,778
<b>固定負債</b>		
長期借入金	1,360	1,235
退職給付引当金	138	135
長期未払金	85	85
その他	68	65
固定負債合計	1,652	1,521
<b>負債合計</b>	<b>5,361</b>	<b>5,299</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	508	508
資本剰余金	758	758
利益剰余金	2,213	2,131
自己株式	△27	△27
株主資本合計	3,452	3,371
<b>純資産合計</b>	<b>3,452</b>	<b>3,371</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>8,814</b>	<b>8,670</b>

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	1,352	1,723
売上原価	1,161	1,497
売上総利益	191	226
販売費及び一般管理費	236	240
営業損失(△)	△45	△14
営業外収益		
受取利息及び配当金	1	0
受取地代家賃	1	1
雑収入	1	0
営業外収益合計	4	1
営業外費用		
支払利息	4	3
雑支出	0	1
営業外費用合計	4	4
経常損失(△)	△46	△17
税引前四半期純損失(△)	△46	△17
法人税、住民税及び事業税	2	2
法人税等調整額	△10	1
法人税等合計	△7	4
四半期純損失(△)	△38	△22

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第1四半期累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

該当事項なし。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

該当事項なし。